

株式会社 松屋 2022年8月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	42.7	31.9
② 銀座店	46.1	44.2
③ 浅草店	13.9	15.5

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
銀座本店	6.1	5.4	11.9	19.7	26.0	12.3	11.4	32.5	95.0	38.4	31.0	42.7
松屋銀座	6.6	6.2	13.4	20.5	27.4	12.8	10.8	34.4	103.6	42.8	33.6	46.1
松屋浅草	0.0	-5.5	-1.7	12.3	12.2	5.5	17.6	11.1	29.6	2.9	3.1	13.9

3. 店舗別商況

銀座店	8月の銀座店の売上高は、前年に対して約5割増に迫る伸びを示しました。化粧品は8月上旬のリニューアルで売場面積が2割拡大したことも要因となり前年比約54%増、ラグジュアリーブランドは同約53%増、時計は前年に対して2倍になる等、銀座店の強みとなるカテゴリーが大幅に売上を伸ばし館全体を牽引しました。特に、ラグジュアリーブランドにおきましては、富裕層を中心に強いニーズがあり、海外への出国が依然スムーズでない中、9月以降もこの趨勢が続くものと思われれます。また、免税を除く国内のお客様の売上は、新型コロナウイルス感染症の拡大前となる2019年8月対比で、約1割増と堅調に推移しております(インバウンド売上については、今後の入国緩和等により徐々に回復する見通し)。
-----	---

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	55.5	55.5
婦人服・洋品	35.9	38.1
子供服・洋品	76.2	76.2
呉服寝具他	24.9	30.6
衣料品計	40.2	42.3
身廻り品	68.6	69.4
雑貨	35.5	35.0
家具	-6.1	-6.2
家電	67.8	67.8
家庭用品	11.9	12.1
家庭用品計	5.6	5.7
食料品	18.3	24.6
食堂・喫茶	92.8	92.6
サービス、その他	38.1	37.8
合計	42.7	46.1

※「2022年9月上報告」は、10/3(月)15時に開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / Mobile: 070-4547-7555